

北九州 市議会だより



NO.183

平成20年11月1日号
(年4回発行)

編集・発行
北九州市議会事務局調査課
TEL582-2632 FAX582-2685



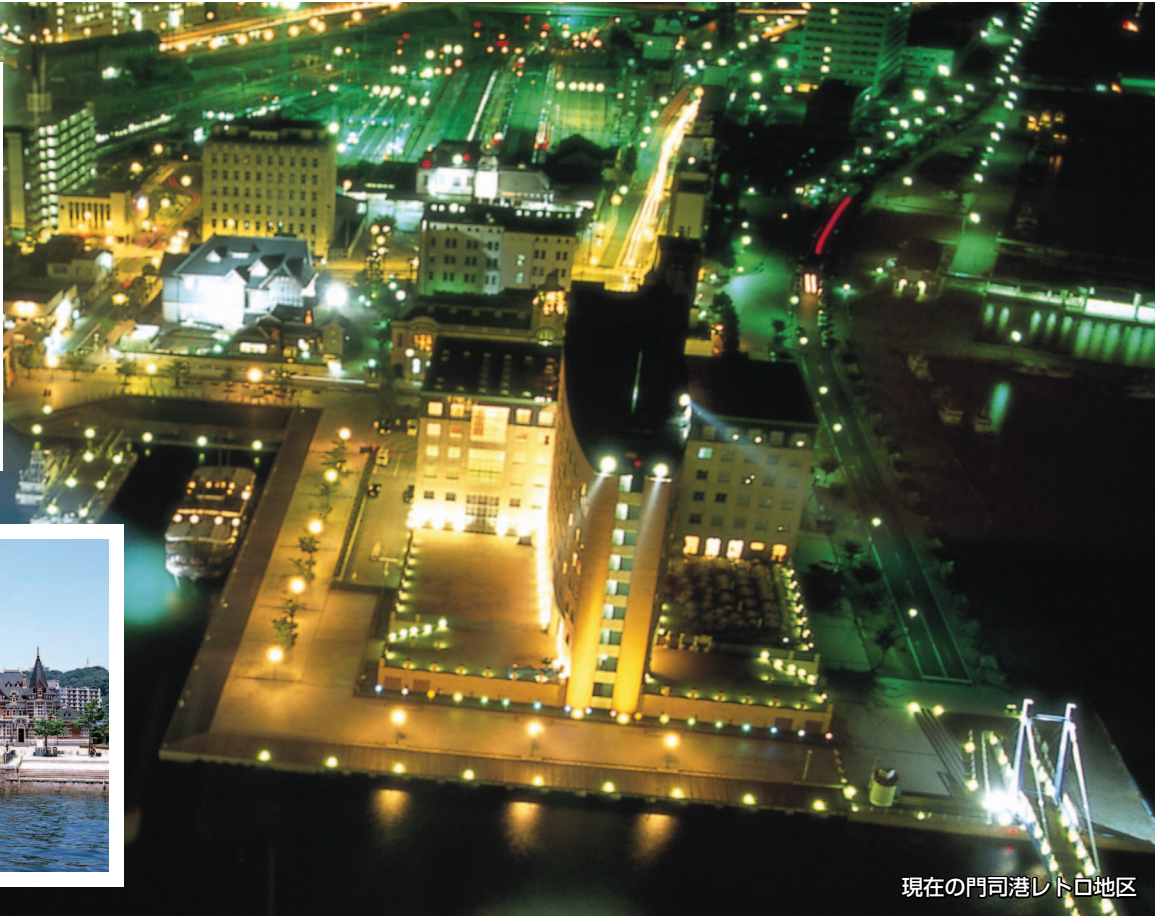
市制45周年
元気発進!

◇市議会のホームページで「市議会だより」や本会議の「会議録」などがご覧いただけます。アドレスは<http://www.city.kitakyushu.jp/page/gikai/>です。

明治43年当時の門司税関（同年に焼失。写真右の建物）



平成6年に復元された旧門司税関



現在の門司港レトロ口地区

平成19年度各会計決算を認定!!

9月定例会が9月2日から9月30日までの29日間の会期で開かれました。
市長から55件の議案が提出され、審議の結果、すべての市長提出議案を可決しました。
また、議員から提出された議案は17件で、うち11件を可決しました。

主な内容	1～3面	本会議での質問と答弁
	4面	決算特別委員会(市長質疑)での質疑と答弁 可決した意見書・決議、請願・陳情の審議結果 常任委員会の主な活動状況

本会議での質問と答弁

本会議での質問と答弁は、要約したものを掲載しています。
詳細は、11月下旬以降、各市立図書館において会議録をご覧ください。
また、市議会のホームページの会議録検索システムでも12月中旬ごろから閲覧できます。

市長自身の市政の評価は？

平成19年度決算

議員

北橋市政初めての年である昨年度の各種事業の実施状況や成果に対して、市長はどのように考え、評価しているのか。

市長

市長に就任して、本市が本当に厳しい財政状況にあることを痛感した。このため、人件費の削減等に積極的に取り組み、その結果目標を上回る1.47億円の経営改善を達成した。一方、市民と約束したマニフェスト関連事業は、ほぼすべての事業を着実に実施することができた。

このように、昨年度は、マニフェストの実現に最大の努力を払ったが、もっと市民の声を直接聴き、市民と「協働」してまちづくりを行いたいとの思いも強くした。そこで、今年度は、市民と直接対話するタウンミーティングをこれまで26回開催した。

また、策定中の市経営プランでも、「市民・NPO・企業等との協働」を一つのテーマとしており、今後も財政の健全化とともに、取り組むべき政策の柱として積極的に進めたい。

市民からのメールの内容は？ また、市長の対応は？

議員

市民から寄せられたホットメール「市長への手紙」の内容はどのようなものか。また、対応はどのように行っているのか。

市長

「市長への手紙」は昨年の4月に開設し、本年8月ま

本会議では、各党派から次の22人の議員が質疑・質問を行いました。(発言順。掲載記事の順番とは関係ありません。)

- 松井 克彦 (市民の風)
- 長野 敏彦 (社民市民連合)
- 赤松 文雄 (公明党)
- 野依 謙介 (日本共産党)
- 藤沢 加代 (日本共産党)
- 大石 正信 (日本共産党)
- 井上 秀作 (自民市民クラブ)
- 鷹 研一郎 (自由民主党)
- 福島 司 (社民市民連合)
- 三宅 まゆみ (市民の風)
- 山本 眞智子 (公明党)
- 渡辺 均 (自由民主党)
- 中村 義雄 (自民市民クラブ)
- 吉尾 計 (緑の会)
- 馬場 一榮 (社民市民連合)
- 成重 丈道 (公明党)
- 原 正博 (日本共産党)
- 石川 高一 (日本共産党)
- 新 康耕 (自民市民クラブ)
- 桂 健一 (自由民主党)
- 奥 村 茂実 (公明党)
- 村 祥子 (自民市民クラブ)

市営バスの経営状況は？

議員

平成19年度決算は、市営バス事業経営改善計画の実施2年目の決算である。想定外の燃料急騰がなければ、収益的収支で単年度黒字を達成していると考えられるがどうか。

交通 交通局では、平成18年度が局長ら同計画を実施し、平成20年度までに経常収支および単年度実質資金収支を黒字化することを目標に、経営改善に取り組んでいる。

今回の決算では、収益的収支は前年度に比べて約4600万円改善したが、燃料の高騰により約1300万円の経費が増加し、1190万円の赤字となった。この想定外の燃料急騰がなければ、今回の決算の収益的収支は黒字であったと思われる。

今年度もさらに燃料の高騰が続いている厳しい状況であるが、目標達成に向けて一層の経営改善に努めたい。